



学習指導要領改訂 中教審への諮問 ②

多様な子供たちを包摂する柔軟な教育課程の在り方

- 興味・関心や能力・特性に応じて子供が学びを自己調整し、教材や方法を選択できる学習環境デザインの重要性、デジタル学習基盤を前提とした新たな時代にふさわしい学びや教師の指導性の在り方
- 教師に「余白」を生み、教育の質の向上に資する可能性も含めた、子供たちの可能性が輝く柔軟な教育課程編成の促進の在り方（各種特例校制度等を活用しやすくすること、標準授業時数に係る柔軟性、学習内容の学年区分に係る弾力性、単位授業時間や年間の最低授業週数の示し方）
- 高等学校の生徒の多様性に応える柔軟な教育課程の実現のための、全日制・定時制・通信制を含めた諸制度の改善の在り方
- 不登校児童生徒や特定分野に特異な才能のある児童生徒など、各学校が編成する一つの教育課程では対応が難しい子供を包摂するシステムの構築に向けた教育課程上の特例等の在り方



進取的欲望を持つ

実業家 渋沢栄一

足るを知り、分を守るとは、活動を止めるというにあらず。人生の進取的目的に対しては、
不断の欲望を持たねばならぬ。

出典：「渋沢栄一 一日一言 人間力を高める言葉」（致知出版社）

※ 感謝と思いやりの心をもちながら、自分の可能性を発揮し続けたいと思います。